学校番号	3009

令和8年度　工業科（建築系）

教科	工業科 （建築系）	科目	建築実習	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	『建築設計製図』・『建築施工』・『建築構造』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築実習は、様々な機器や装置の操作を行います。単純に技能や技術を体感するだけではなく、安全基本行動を意識した技術者としての倫理観を養ってください。

また、実習の学習は単に作業することを目的と考えるのではなく、それぞれの班に属していることを意識してください。班の中で各自が相互に協力して責任を持つことにより、チームワークによる協力の態度を養い、建築技術者として最も重要な資質を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

各種材料・各種工法・各種器具の通り扱い等の知識と技術を習得し、建築の専門分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に考察し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

また、各種装置を使用する作業実習においては常に安全基本行動を意識させ、基本となる5Sを実施し、KY（危険予知）能力を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築実習（設計・CAD・測量・施工）に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。	建築実習（設計・CAD・測量・施工）の基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	建築実習（設計・CAD・測量・施工）に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
パート1	設計(意匠)実習	1. スケール/モジュール等 2. 住宅プランの研究 1)実例を検討分析 2)意匠的感性の習得 3. 住宅設計 1)講義/エスキス 2)平面図 3)立面図 4)断面図	a:プランニングに関する基礎知識を身に付け、合理的に計画し、技術を適切に活用している。 b:設計の基礎知識を基に、用途と動線計画を判断し、適確に表現する能力を身に付けている。 c:設計に関する課題に関心をもち、改善・向上をめざし主体的に取組む態度を身に付けている。	学習状況観察 ワークシート提出状況	学習状況観察 提出課題内容	授業参加状況 ワークシート提出状況
パート2	CAD実習	1. 基本操作の理解 2. 図形の作図 3. 建築製図の実践 1)通り芯・寸法・記号(1/100) 2)平面図(1/100) 柱・壁・間仕切壁 3)部分詳細図(1/30) 壁・開口部	a: CAD に関する基礎知識を身に付け、合理的に技術を適切に活用している。 b: CADの基礎知識を基に、的確な操作方法を判断し、適切に表現する能力を身に付けている。 c: CAD 作図に関心をもち、その改善・向上をめざし主体的に取組む態度を身に付けている。	学習状況観察 ワークシート提出状況	学習状況観察 提出課題内容	授業参加状況 ワークシート提出状況
パート3	測量実習	1. 平板測量 2. 水準測量 3. トータルステーション据付 4. トータルステーション測量	a:各種測量機器の操作法を身に付け、設置から集約まで手順通りに実行できている。 b: 測量の基礎知識を基に、的確な操作手段を判断し、適切に表現する能力を身に付けている。 c: 測量に関心をもち、その改善・向上をめざし主体的に取組む態度を身に付けている。	学習状況観察 ワークシート提出状況	学習状況観察 提出課題内容	授業参加状況 ワークシート提出状況
パート4	施工実習	1. 製作物試案 2. 製作物の展開図 3. 木材加工機器操作手順 4. 部品加工 5. 組立・仕上	a:施工に関する基礎知識を身に付け、合理的に製作物を計画し、技術を適切に活用している。 b:木材加工の基礎知識を基に、加工方法を判断し、適確に表現する能力を身に付けている。 c:施工に関心をもち、その改善・向上をめざし主体的に取組む態度を身に付けている。	学習状況観察 ワークシート提出状況	学習状況観察 提出課題内容	授業参加状況 ワークシート提出状況

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度